



富山県SDGs宣言実施状況報告書



令和8年4月1日

企業名 株式会社トップフード

代表者 菊地 敏範

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和7年4月1日（宣言日又は令和7年4月1日）～令和8年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】子ども食堂を新たに開設しひとり親家庭の支援</p> <p>【実施状況】当社は富山県より委託を受け、県内における子ども食堂の設置促進および運営支援に取り組んだ。その結果、富山県内の子ども食堂数は、2024年時点で約70箇所規模から、2025年には84箇所へと増加し、地域の食支援体制の拡充に貢献した。</p> <p>子ども食堂の新規開設に向けた支援（立ち上げ相談・運営指導）・食材供給および調理負担軽減の提案・継続運営に向けた体制整備支援。これにより、子ども食堂の新規参入障壁の低減および運営の持続可能性向上を実現し、結果として県内の設置数増加に寄与した。</p>
2	<p>【目標】食料資源の無駄を無くし環境への負荷を軽減させる為、フードロスの削減に取り組む</p> <p>【実施状況】食料資源の有効活用および環境負荷の軽減を目的として、フードロス削減に取り組んでいる。具体的には、調理済み食材（完調品）の活用により必要量のみを使用を可能とし、過剰調理や廃棄の抑制を実現している。また、需要に応じた適正な発注・在庫管理を徹底することで、賞味期限切れや余剰在庫の発生を防止している。さらに、未利用食材の有効活用や地域支援への活用を推進し、食品廃棄物の削減を通じて持続可能な社会の実現に貢献した。</p>
3	<p>【目標】ペーパーレス環境への移行</p> <p>【実施状況】業務効率の向上および環境負荷の軽減を目的として、ペーパーレス環境への移行を推進している。具体的には、請求書・契約書・各種帳票の電子化を進めるとともに、クラウドシステムの活用により社内外の情報共有および承認フローのデジタル化を実現している。これにより、紙使用量の削減と業務の迅速化を両立し、持続可能な業務運営体制の構築に取り組んだ。</p>

※宣言日（ウェブサイト掲載日）から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。